

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

創刊号 2003年4月発行

発刊に向けて 会長 加藤賢三

多くの市民の皆さまの参加による八千代市の「ほたるの里づくり」は平成10年から始まり、その年に実行委員会が発足して、早いもので今年で6回目のほたるの里づくり実行委員会総会を迎えることになりました。昨年は、千葉県で初めてのホタルサミットを当実行委員会が主体となり開催することができました。これもホタルメイトの皆様のお力添えがあつてはじめて出来たことだと感謝しております。

今年、「(仮称) ほたるの里だより」を年に4回発行することになり、毎回、ほたるの里の「みどころ」などをご紹介して、みなさまにより一層ほたるの里に親しんでいただけるように心がけて行きます。

今の里づくりは、ホップ、ステップ、ジャンプのホップからステップに移行しはじめの段階かと思えます。この時期に、もう一度、里づくりを始めた頃の思いをふりかえってみたいと考えています。

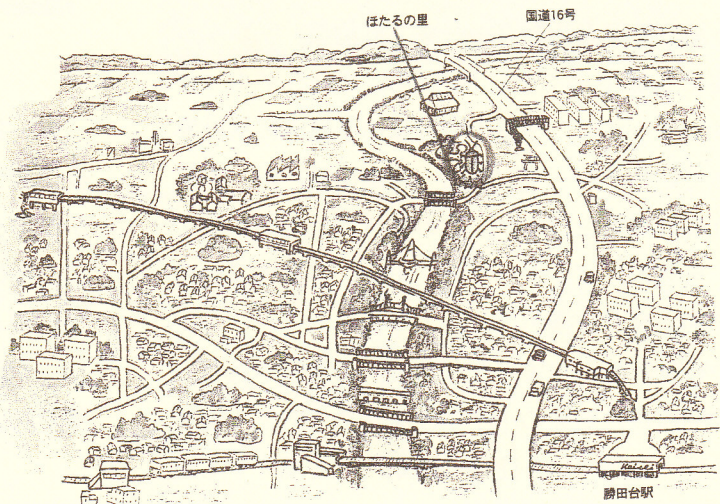
八千代市のほたるの里づくりの基本設計は、平成5年から始まり、平成9年7月に乳清水の水を活用した水路や池、湿地などの基本構造が出来上がりました。ここは、未来につなぐ八千代の潤いの水辺ネットワーク、子供たちに託す未来への遺産として、八千代ふれあい農業の郷(道の駅)とともに、湧き水を利用した、ほたるの里づくりの整備が計画されました。

そして、当時はこのほたるの里をどの

ようにつくり、運営すればよいかの話し合いも行われました。そこでは、ほたるの里づくりはホタルの身になって、そこにホタルが棲んでみたくなるようなところにするのが、大切ということ。そして、ホタルは環境のバロメータであつて、メダカもカエルも、その他多くの生き物が共生できる場所となるように、市民、行政、事業者が協力して里づくりをして行ければ、と云うことなどが話し合われました。

今後、この里は多くの生き物のすめる場、環境学習の場、そして総合学習や市民のいこいの場所として利用され、親しまれていくことが期待されています。

皆さんが里に来てみて、楽しいと思えるように、そして生き物の姿を見て、感動するところ(センスオブワンダー)、をもてるようにして行ければと思います。そのためには、「(仮称) ほたるの里だより」の季節ごとの里の「みどころ」を参考に、みなさんと一緒に、この里を「ワンダーランド」にして行きたいと願っています。



交通 東洋バス 勝田台駅発米本団地行に乗車 米本団地入口で下車
新八千代病院わきを下ると、ほたるの里です

ホタルサミット in 八千代

《八千代で初サミット

自然保護団体が情報交換》

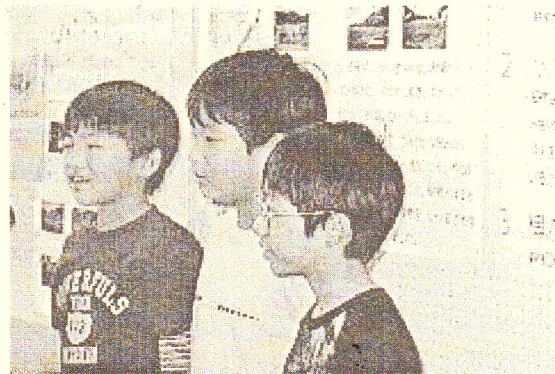
ホタルの住めるまちを子孫に引き継ごうと、環境問題に関心を寄せる市民団体が集い、ホタルサミット in 八千代―「ホタルもヒトもかがやくまちに」（同実行委主催、同市共催）が昨年10月、八千代市立勝田台文化センターで初開催された。

八千代市は、同市米本にある三千三百平方メートルの水田跡に「ほたるの里」を整備。ここでは、1997年の夏から、ホタルメイトと呼ばれる市民ボランティアの手により、ホタルに適した自然環境づくりが進められている。二年ほど前からはホタルの飛来も観察されるようになり、生物の多様性維持や自然保護、環境保全に対する市民の関心は高まりを見せ始めている。

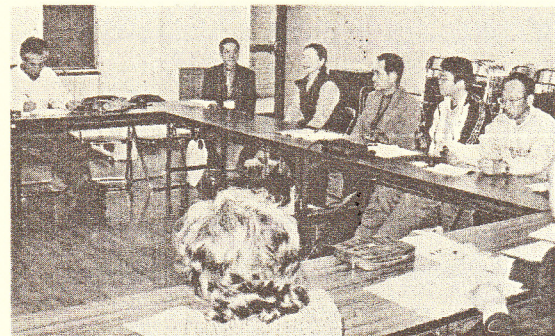
こうした中、市内外の環境保護団体やホタルメイトが手を携え、「自然環境のバロメータともいわれるホタルを通じて身近な環境を見つめ、議論し、行動に移すための情報交換の場をつくろう」と、サミットの開催を企画した。サミットでは、ホタルの研究で世界的に著名な横須賀市自然博物館の大場信義博士が『日本のホタル・世界のホタル』と題し基調講演。また、①自生ホタルが生息する地域の保全活動グループ（自然系）②ホタルの住める環境づくりに取り組んでいるグループ（ビオトープ系）③里山や谷津田を拠点に活動展開しているグループ（里山・谷津田系）が、それぞれ事例発表を行った。この後行われた分科会では、自然系、ビオトープ系、里山・谷津田系の各分野別に意見交換が行われ、今後のあるべき方向性や行動計画がさまざまな角度から考察された。参加団体数は地元の小中学校を含めて約三十団体に及び、会場には各団体の活動内容を紹介する展示ブースが設けられた。



発表する萱田小学校5年生



発表する新木戸小学校4年生



里山・谷津田系の分科会

丸一日かけて行われた今回のサミットでは、最後に大会宣言も読み上げられ、「ホタルもヒトもかがやく明るい街づくり」に向け、今後も積極的に、団体間の交流推進や水辺の環境整備、住民参加の促進―に取り組んでいくことを確認し合った。（写真説明）展示ブースでは、地元の小学校も展示発表を行った＝勝田台文化センター

(H14. 10. 29 千葉日報)

里のみどころ (4~6月のみどころ)

里の周りは田に水が張られ、田植えされた稲が日増しに成長しています。

里の中では、ヤナギの芽が、新緑から若葉へと色濃くなってきます。

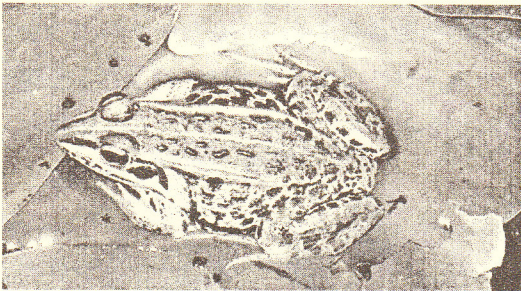
野草の花は、黄色のミヤコグサ、うすピンク色のモジズリなど可憐に咲いています。

花の周りには、ハチ、シジミチョウなどいろいろな虫たちが集まっているでしょう。

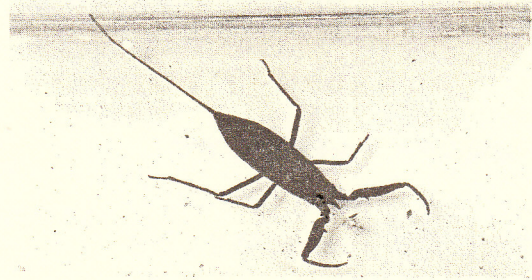
水の中では、オタマジャクシがカエルになり、メダカは産卵し、新しい“いのち”が生まれ育っています。

自生のほたるがいたら、そろそろさなぎになるため、上陸するころ…

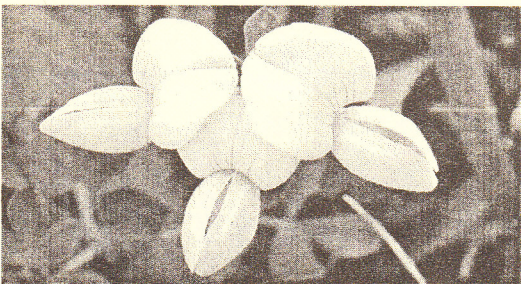
里にでかけて見ませんか、なにかに出会えるかも？



トウキョウダルマガエル



タイコウチ



ミヤコグサ



モジズリ

平成14年度 里のホタル観察記録

ここ数年、ほたるの里ではゲンジボタルとヘイケボタルの飛ぶ姿が見られるようになりました。昨年は、5月14日にゲンジボタルが一匹見つかりました。これは前年より一週間も早い記録。その後、毎日のように見られ、19日には7匹。25日に10匹見られ、5月30日頃には0匹になりました。ヘイケボタルについては、6月3日に

2匹が見られ、6月8日には10匹、7月13日には、20匹見られました。8月に入って、10日に2匹確認されたのが最後でした。要約すると、ゲンジボタルは、5月中、ヘイケボタルは6月から8月上旬まで確認されたこととなります。今年は積極的には、幼虫の放流をしていませんが、今年の夏は自生のヘイケボタルが見られることを期待しています。

年間スケジュール紹介 (15年度)

月	日	曜日	内 容	日	曜日	内 容
4	12	(土)	総会			
5	24	(土)	ほたるの里環境整備			
6	21	(土)	ほたるの里環境整備			
7	12	(土)	ナイトウォッチング	26	(土)	ほたるの里環境整備
8	30	(土)	ほたるの里環境整備			
9	27	(土)	ほたるの里環境整備			
10	25	(土)	ほたるの里環境整備			
11	9	(日)	視察	22	(土)	ほたるの里環境整備
3	6	(土)	ほたるの里環境整備			

会報のタイトルを募集します!

(5月31日締め切り)

併せて、原稿や写真もお寄せください。ホタルの思い出、自然への想い……などをどうぞ。

ホタルグッズをご希望の方はお申し込みください(ロゴマーク入り)
Tシャツ、帽子、サンバイザー、各2,000円(消費税込み)サイズはM・Lのみ

ホタルメイトになりませんか?

年会費	個人	300円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、イベント、ほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

- ① 池や小川の中に入らないこと
- ② 草や虫をいじめないこと
- ③ ゴミをすてないこと
- ④ コイ、ブラックバスなどをいれないこと



[ほたるの里の連絡先]

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 事務局 八千代市役所環境保全課
〒276-8501 八千代市大和田新田312-5
電話047-483-1151 ファックス484-8824